

保幼小中一貫教育の推進方針・学校等再配置計画についての説明会
 質疑応答要旨(5/22～6/4 5回開催分)

* 質問・回答とも要旨を記載しております。
 本説明会の主旨に係る質問のみ掲載

●ソフト面

No.	種別	発言内容	回答内容
2-1	質問	一貫校になるとき、子どもたちの環境が大きく変わります。(場所、規模、人間関係など)スムーズに移行するような計画はありますか。	先進事例では環境が大きく変わる4月に学級づくり集団プログラムというものを取り入れておられます。これは子どもたちの関係を深めていく取り組みです。このようなプログラムをはじめ、必要と思われるものは、準備会で今後検討していきたいと思っております。
2-2	質問	異学年交流は現在中学校で行われていますか。デメリットを吸収する機会があるのではないかと心配していますが、どうなのでしょう。	異学年交流については、いま中学3年生と保育所・幼稚園との交流を盛んに行っています。小中学校間の交流も体験入学と言う形で取り入れています。先生の話では、中学生が年少の子どもとの交流の中で、自分の存在価値を見出す生徒が多いと聞きます。教育課程の中だけでは味わえない効果をもたらしていると聞きます。また、近隣の一体型小中一貫校見学の中でも、中学生が下級生に対し、優しくなっているという話をすべての校長より聞かされております。もちろんデメリットもないわけではないでしょうが、いまのところ聞くに及んでいません。
2-3	質問	様々な考えの方がおられますが、「教育にふさわしい環境」とは、住宅地の西地区よりも自然豊かな東地区ではないかと思いましたが、その辺りはどうお考えですか。	一貫教育の推進案にも掲げております「とよの学」を創設し、各地区の地域学習や東地区自然体験学習を実施し、自然とふれあう機会を行おうと考えています。
2-4	質問	西地区の通学の安全面を考えたとき、東地区に学校を作り、西地区の生徒を通学バスにした方が生徒・児童の安全を確保できるとも考えられるがいかが思われますか。	教育委員会会議の中でも東地区に建てればどうかという意見もありましたが、敷地の確保(隣接する公共用地)、立地の現状(高低差)等総合的に勘案すると吉川中学校が望ましいという結論に至りました。
2-5	質問	緊急時、有事の際の送迎等について、どうなるのでしょうか。	想定できるものについては、事前に準備はできますが、想定されていない事象が発生した場合は、その都度協議、対応していかなければならないと考えます。
2-6	意見	保護者の東西間の移動(東地区の方が参観等で西地区へ移動)についても考慮いただきたいと思っております。	平成32年にバス路線の再編される見込みです。バス路線の再編により東西のバスの繋ぎが変わってくると思いますので、その状況を見てから検討させていただきたいと考えます。
2-7	質問	スクールバスの運行をお考えのようですが、バスの運行を主とした時間割や行事になるのではないかと懸念しています。	各々の学年、時間割に合したスクールバスの運行を考えています。
2-8	質問	2小1中の案はなかったのでしょうか。	議論の中にはありました。西地区の生徒にとってはメリットは一定あるが、東地区の生徒にとってはメリットはないと判断しました。また、小中一貫のメリットを考えますと、一体型小中一貫校が子どもたちにとって最良であると判断しました。
2-9	質問	部活動での対外試合などの ^ク 括りはどうなるのでしょうか。	スポーツでの中学校体育連盟や、団体の括りがあります。練習などはいまの枠を超えてすることのあるとは思いますが、対外試合等は、各団体のルール内での参加となります。
2-10	質問	中学校の給食ですが、自校方式は平成35年4月からですか。	その通りです。
2-11	意見	一貫校のイメージがわからない方が多いと思っておりますので、近くで(ほそごう学園やささゆり学園など)見学会をされてはいかがでしょうか。	他地区でもご要望が多ければ考えてみたいと思っております。

2-12	意見	教育に無関心な保護者が多いと思っています。西地区に学校が行くと、特に東地区の保護者がますます教育、子どもに対し無関心になるのが心配です。保護者が積極的に関わることを何か考えていかないといけないと感じています。	見守りやその他学校に関わっていただいている方が多くおられます。無関心にならないような仕組みづくりを考えて行かなければと思います。直接は我々が意見する立場ではないですが、青育協などの組織もある程度、地域を加味する必要はあると考えます。
2-13	意見	もう少し細かな内容で説明していただいた方が、理解は得られ易いのではないかと思います。	大きな枠組みである「教育大綱」の内容をご了解いただくために今回の説明会は開催しております。概ねこの方針で行くとなれば、その後具体的に詳細について詰めて行くという段取りで進めております。
2-14	意見	交流の件ですが、クラブ活動等での交流の話はありました。修学旅行なども一緒に行くなど交流を深めていただけたらもっと良いと思います。	5年後に向けて、早い段階から修学旅行も含めて、学校行事について各学校と相談を進めていきたいと考えています。

●ハード面

No.	種別	発言内容	回答内容
2-15	意見	跡地利用についても(町づくり)同時に考えて行かないといけないと思います。	跡地利用については、上記のとおり。「まずは教育から」という方針を町長が示されました。これは未来を背負う子どもたちの教育を最優先して考えて欲しいという表れで、教委としては嬉しいことであると思っています。
2-16	質問	一貫校には賛成。 いまの小学校の修繕とかはしていただけないのでしょうか。	子どもたちに支障がないようにはします。 大規模な改修は、考えていません。